

創業者出身地への学生派遣プログラム（鳥取県）

日程 2012年9月10日（月）～9月13日（木）

テーマ 「創業者出身地・とっとり活性化プロジェクト～鹿野町からの発信～」

趣旨

明治大学地域連携推進センターでは、本学創業者出身地（鳥取県、山形県天童市、福井県鯖江市）と連携協力に関する協定を締結し、多様な連携事業を推進しています。鳥取県とは、岸本辰雄先生の出身地であることがご縁で、鳥取県・鳥取大学・明治大学の3者で連携協力に関する協定を締結し、さまざまな連携事業を実施しています。

このたびは創業者出身各地域について、学生と地域の人々の交流・連携を通じた「地域活性化への提言」を行う学生派遣プログラムを実施しました。鳥取県においては、活動を鳥取市鹿野町に絞り、鳥取県・鳥取市・NPO いんしゅう鹿野まちづくり協議会から5つのテーマ・課題が提示されました。このことに対する解決策・対応策を提案すべく、学生が主体となって事前調査・研究、グループワークを行い、鹿野町における調査・取材、グループワークなどを経た後、地域住民・行政・関係団体などと「熟議*」形式で課題や問題点を絞り込み、その成果を「具現化案」にまとめ鳥取県・鳥取市・いんしゅう鹿野まちづくり協議会に報告しました。

*「熟議」形式とは、地域、職業、立場、年齢、性別を越えたさまざまな人々が、対等な立場で、共通のテーマについて「課題や問題点」を整理し、議論を重ね、「課題や問題点の解決方法や対策」について意見交換しながら「解決策・対応策の提言」をまとめる協働作業を行う場のこと。

グループテーマ・参加者 学生18名（男子8名、女子10名）

第一グループ 「鳥取・鹿野のおもてなし」

松尾太博（経営学部4年）、張斯維（大学院法学研究科2年）、
朴何林（文学部2年）、李倫志（政治経済学部1年）

第二グループ 「福祉政策を考える（買物弱者対策など）」

目黒五月（法学部3年）、前田晃穂（法学部3年）、
浅野友花（政治経済学部1年）

第三グループ 「『四季薫るまち鹿野』のプランニング（1年を通じて訪れるまちづくり）」

阿部紘明（政治経済学部4年）、山口祐（国際日本学部4年）、
鈴木琴美（政治経済学部3年）、木村枝里（商学部1年）

第四グループ 「空き家活用（企業のサテライトオフィスなど）」

柴田研三郎（商学部4年）、本橋勇次郎（法科大学院法務研究科3年）、
穂坂彩乃（理工学部4年）

第五グループ 「都会で売れる『鹿野ブランド（農業・文化・工芸など）』づくり」

田中宣成（大学院グローバル・ビジネス研究科1年）、佐伯爽（農学部3年）、
植村正之（政治経済学部2年）、包辰（農学部2年）

大学における派遣学生への事前説明会及びグループワーク（8月1日～）

プログラムの趣旨、意義を確認。鳥取県東京本部・大場本部長およびNPOいんしゅう鹿野まちづくり協議会・小林副理事長から鳥取県、鹿野町のレクチャーを受けたのち、第1回目のグループワークを実施しました。また、現地研修前に鳥取県東京事務所、アンテナショップ訪問など取材・調査、資料収集、グループワークを随時行いました。



鹿野町におけるプログラム開始（9月10日）

鳥取市鹿野に到着後、鳥取市鹿野町総合支所においてオリエンテーションを実施しました。鳥取市鹿野町総合支所・中川所長から歓迎のあいさつと、明大生に対する熱い期待が述べられました。本学の学生各チームからの挨拶と、鳥取大学学生による挨拶を行いました。オリエンテーション終了後には、NPOいんしゅう鹿野まちづくり協議会のご案内のもと、鹿野町を散策しました。これまで事前研修で調べてきた鹿野町を実際に見て、学生たちも楽しみそうです。



担当課・熟議参加者との交流会（9月10日）

鳥取県担当部課職員，鳥取市担当部課職員，鹿野町総合支所担当部課職員，NPOいんしゅう鹿野まちづくり協議会メンバーの方々にお集まりいただき、2時間半におよぶ熟議を行いました。各グループとも、事前研修で考えてきた案を披露しながらも、現地の方々の意見を聞いて、次の日以降の現地での調査対象を検討しました。「鳥取のおもてなし」がテーマのチームでは、鳥取大学の学生からも参加に關達な意見交換が行われていました。



熟議終了後、宿舎に戻ると明治大学校友会鳥取地域支部支部長・石谷様から鳥取県名産「二十世紀梨」の差し入れをいただき、夕食時においしくいただきました。

現地での取材及び農業体験（9月11日）

2日目。午前中は各グループに分かれて調査や研究を行います。グループごとに徒歩や自転車、担当者の車両を利用し、精力的に聞き取りを行っていきます。午後からは古仏谷地区へ移動して、鹿野町でも数少ないしょうが生産農家である原田さんに、これまでの取り組みや今後の展開などのお話を聞きながら、そばの花摘みを行いました。



市民参加バーベキュー（9月11日）

夕方からは、鬼入道地区へ移動して市民参加のバーベキューを実施しました。屋間にヒアリングさせていただいた方や、鹿野町でまちづくりに関わっている方など多くの方にご参加いただき、交流しました。この日の夜は、鬼入道にあるお試し定住施設「鬼楽庵」に学生全員が宿泊し、夜遅くまで議論を重ねていきます。



現地での取材及び日本文化体験（9月12日）

3日目も、午前中からグループごとに取材をおこなうとともに、希望のグループはそば打ち体験を行いました。鹿野町で参加出来る日本文化体験として、鳥取県の支援により実施しました。そば打ち初体験の学生も多かったようですが、自分の打ったそばを食べて、午後からの調査も元気よく取り組んでいました。



2回目の熟議 (9月12日)

夕方からは、2回目の熟議を実施しました。ここでも多くの方々にお集まりいただき、現地調査を踏まえて、熱心な意見交換がされ、最終日の中間報告会へ向けて準備を行っていきます。この日は、明け方近くまで中間報告会の準備するグループもありました。



中間報告会 (9月13日)

最終日の午前中、宿舎を出発して、中間報告会の準備を始めます。そして、午後からは本番です。市民や関係者など50名以上集まる会場にて、5グループの発表が行われました。各グループ10分の発表の中に対して、県や関係者からご講評をいただきました。



鳥取県、鳥取市、鹿野町のみなさん、また学生の取材にご協力くださったみなさん、熱いご支援ご協力いただき、誠にありがとうございました。



(鳥取県立 県民文化会館前
岸本辰雄先生顕彰碑)